



情シスが “デバイス選択の自由” を提供し続けるための IT環境の話  
～ 月300人入社を支えるキッキング手法とは ～

2024.08.06



Corporate IT - JM

**古舘 勝也 (tatti)**

Furutachi, Katsuya

#### ▼プロフィール/Profile

- 年齢: 0x2A才
- 出身: 東京都

#### ▼略歴/Brief History

- 私立大学理学部 情報科学科 4.0年
- 独立系SIer 情報システム部 12.5年
- 広告制作会社 情報システム部 6.5年
- フリー株式会社 Corporate IT 0.5年 <= New!

#### ▼趣味/Hobby

- クラリネットを少し吹くことができます。
- 普段はアイスティーを飲んでいますが。アイスコーヒーも飲みます。

#### ▼メッセージ/Message

- 世の中の情報システム部を救いたいです。
- それと、人類を労働から解放したいです。

#### ▼認証/Certification

- Project Management Professional (PMP)®: 1441781
- 情報処理安全確保支援士: 010144

Jamfの話をします



# 目次



- 01 選択の自由 (5分)
- 02 Jamf Proで管理工数を削減 (10分)
- 03 ついでにセキュリティ (5分)
- 04 複数OS混在でも耐えられる? (3分)
- 05 いま困っていること (1分)
- 06 まとめ (1分)

# 本日のまとめ

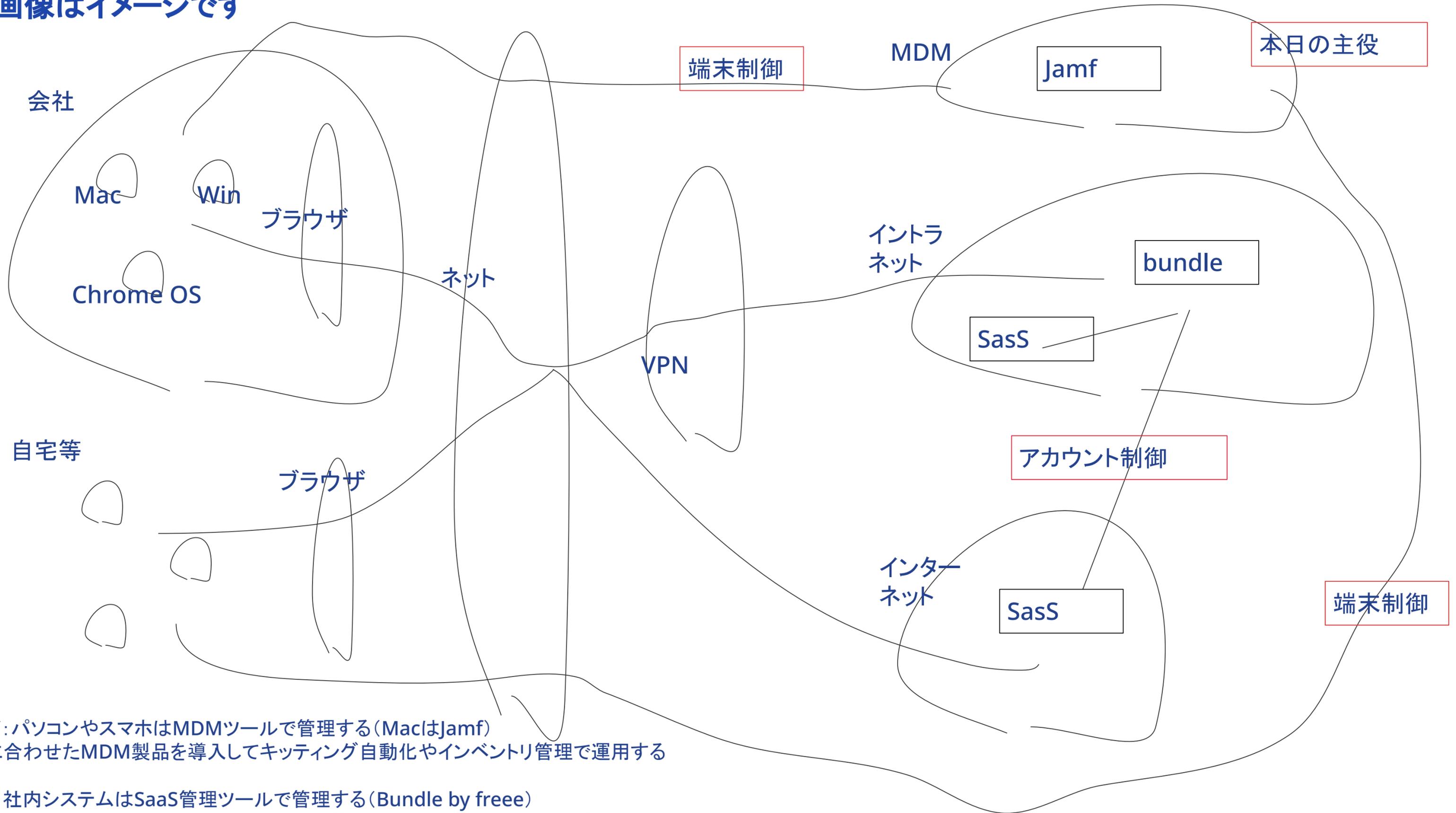
情シスが“デバイス選択の自由”を提供し続けるためのIT環境の話 #とは

- ユーザーの自由は、情シスの不自由 → ルールと仕組みを用意して自由にプレイしてもらおう！
  - ルールと仕組みをユーザーに強制させるために、ITツールを活用して労働から解放されよう！
- ハード: パソコンやスマホはMDMツールで管理する (MacはJamf)
  - OSに合わせたMDM製品を導入してキッティング自動化やインベントリ管理で運用する
    - 例えば、MacはJamf Proのダッシュボードでパッチ適用状況を管理する
- ソフト: 社内システムはSaaS管理ツールで管理する (Bundle by freee)
  - 社内システムはSaaS利用をメインとしてSaaS管理ツールでアカウント発行や権限管理する
    - 例えば、Bundle by freeeのアカウント棚卸し機能でシャドーアカウントを検知する

月300人入社を支えるキッティング手法とは #とは

- Jamfのゼロタッチキッティング最高だぜ！！！！！！！！
  - でも完全なゼロタッチにはしていない
  - 化粧箱から出して管理番号シールを貼ってから渡している

※画像はイメージです



ハード: パソコンやスマホはMDMツールで管理する (MacはJamf)  
・OSに合わせたMDM製品を導入してキッティング自動化やインベントリ管理で運用する

ソフト: 社内システムはSaaS管理ツールで管理する (Bundle by freee)  
・社内システムはSaaS利用をメインとしてSaaS管理ツールでアカウント発行や権限管理する

## 目次

01 選択の自由



02 Jamf Proで管理工数を削減

03 ついでにセキュリティ

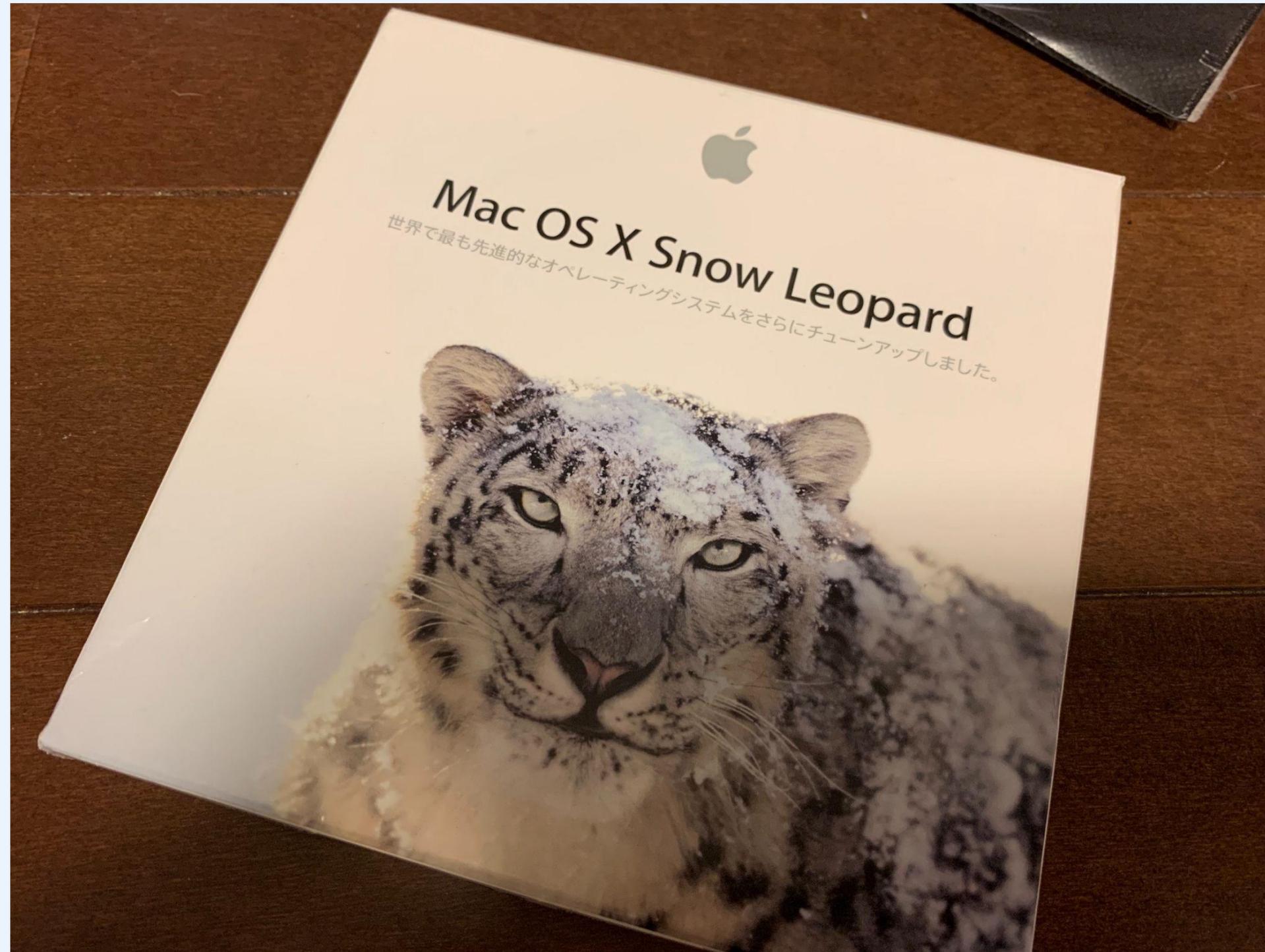
04 複数OS混在でも耐えられる？

05 いま困っていること

06 まとめ

# 私とMac

仕事ではWindowsを使っていて飽きてしまったので、私生活ではMacを使うことにした



リソース | 事例 | free | Jamf × +

jamf.com/ja/resources/case-studies/freee/

ログイン | 日本語

jamf ソリューション 製品 価格 リソース パートナー お問い合わせ

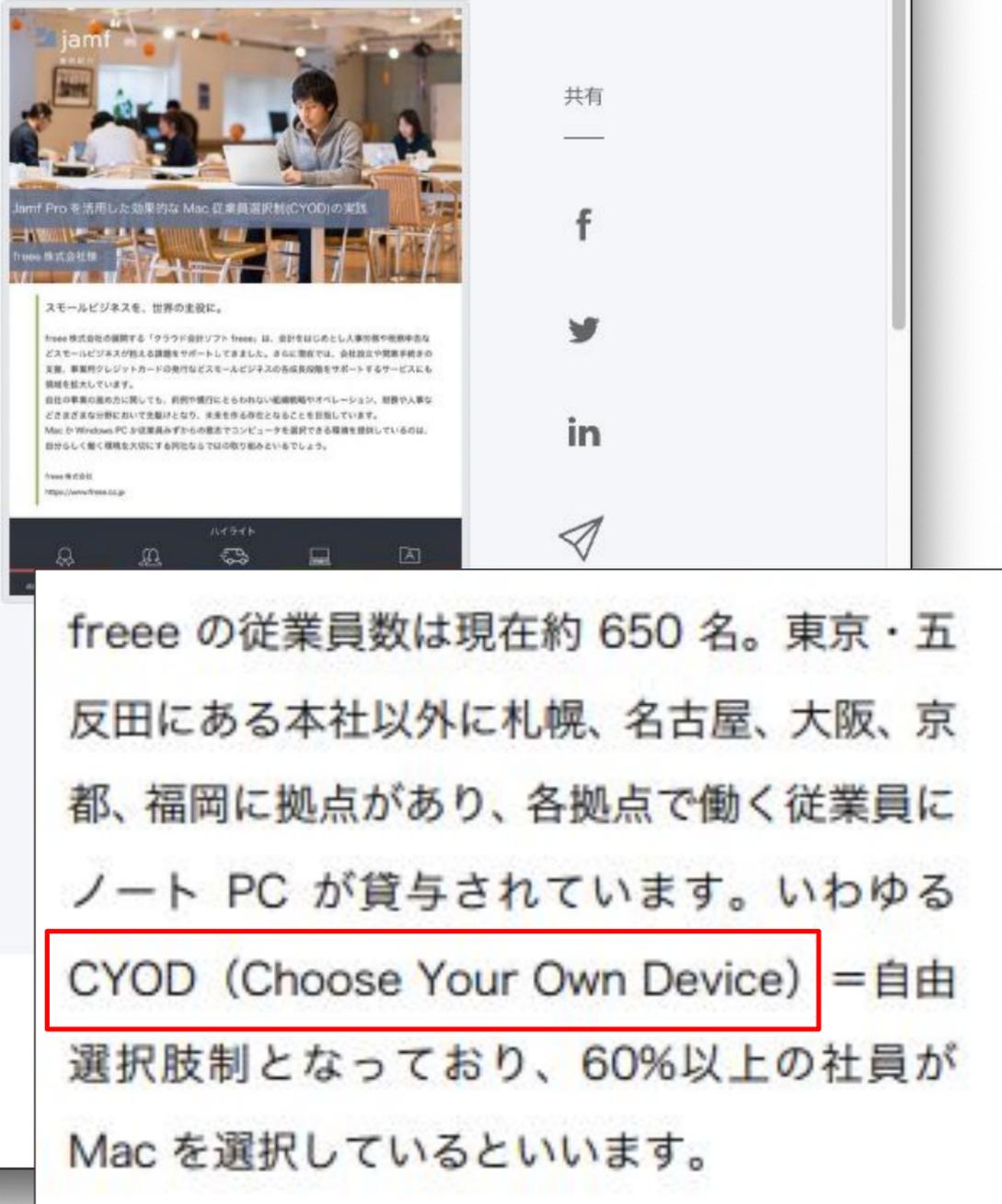
試用版の開始

## freee-Jamf Proを活用した効果的なMac従業員選択制(CYOD)の実践

freee株式会社の展開する「クラウド会計ソフトfreee」は、会計をはじめとし人事労務や税務申告などスモールビジネスが抱える課題をサポートしてきました。さらに現在では、会社設立や開業手続きの支援、事業用クレジットカードの発行などスモールビジネスの各成長段階をサポートするサービスにも領域を拡大しています。

自社の事業の進め方に関しても、前例や慣行にとらわれない組織戦略やオペレーション、財務や人事などさまざまな分野において先駆けとなり、未来を作る存在となることを目指しています。MacかWindows PCか従業員みずからの意志でコンピューターを選択できる環境を提供しているのは、自分らしく働く環境を大切にしている同社ならではの取り組みと言えるでしょう。

PDFをダウンロード



共有

f

Twitter

in

freee の従業員数は現在約 650 名。東京・五反田にある本社以外に札幌、名古屋、大阪、京都、福岡に拠点があり、各拠点で働く従業員にノート PC が貸与されています。いわゆる **CYOD (Choose Your Own Device)** = 自由選択制となっており、60%以上の社員がMacを選択しているといえます。

jamf

# フリーはこんな感じで人が増えている

[https://corp.freee.co.jp/ir/factbook\\_ja.pdf](https://corp.freee.co.jp/ir/factbook_ja.pdf)



# ヒトがたくさんふえているから、パソコンもたくさんひつよう

- たくさんパソコンが必要だから、情シスはたくさんパソコンを管理しなければならない
  - 情シスとしては、OSを1種類に限定したら管理が楽だよね
  - でもみんな色々な理由で色々なOSを使いたいんだよ
    - Mac
    - Windows
    - Chrome OS
- 事実:フリー株式会社ではMacとWindowsとChrome OSを利用している
  - ユーザーには業務内容によってOSとスペックを選択したい理由がある
    - エンジニア(非実在)「つよつよMacでバリバリ開発したい」
    - 内定者(非実在)「え？英字キーボード配列のMacを選べないんですか？」
    - とあるフルタチさん「パソコンもって移動することが多いので軽い端末が欲しい」
- ユーザーの自由は、情シスの不自由
  - とある情シス「それWindowsでも出来ますよね？」

ところで、なんで Macを使ってるんだっけ？

# Macを使いたい理由

- 良く聞く話
  - ハードウェアがスタイリッシュ
  - タッチパッドが使いやすい
  - ディスプレイが綺麗だしスクロールも滑らか
  - フォントがキレイ
  - フォトショとかイラレを使いたい
  - Web系開発者はみんなMac使っている
  - Macしか使ったことない
  
- 私の話
  - 左親指でIME-off、右親指でIME-on、これが最高に良い
    - 左上の半角/全角切り替えの「トグルキー」だと「状態」を覚える必要があって辛い
    - 日本語を打つなら右親指から、ローマ字なら左親指から、これを最初に必ず打つ
  - terminalがオシャレすぎるし、最初から入っているの最高に良い
    - Unix系コマンドも叩けるし、当たり前のようにvimも最初っから用意されている
  - でも「それWindowsでも出来ますよね・・・？」とは思う

**Macを選択する理由は、Macを使いたいから？**

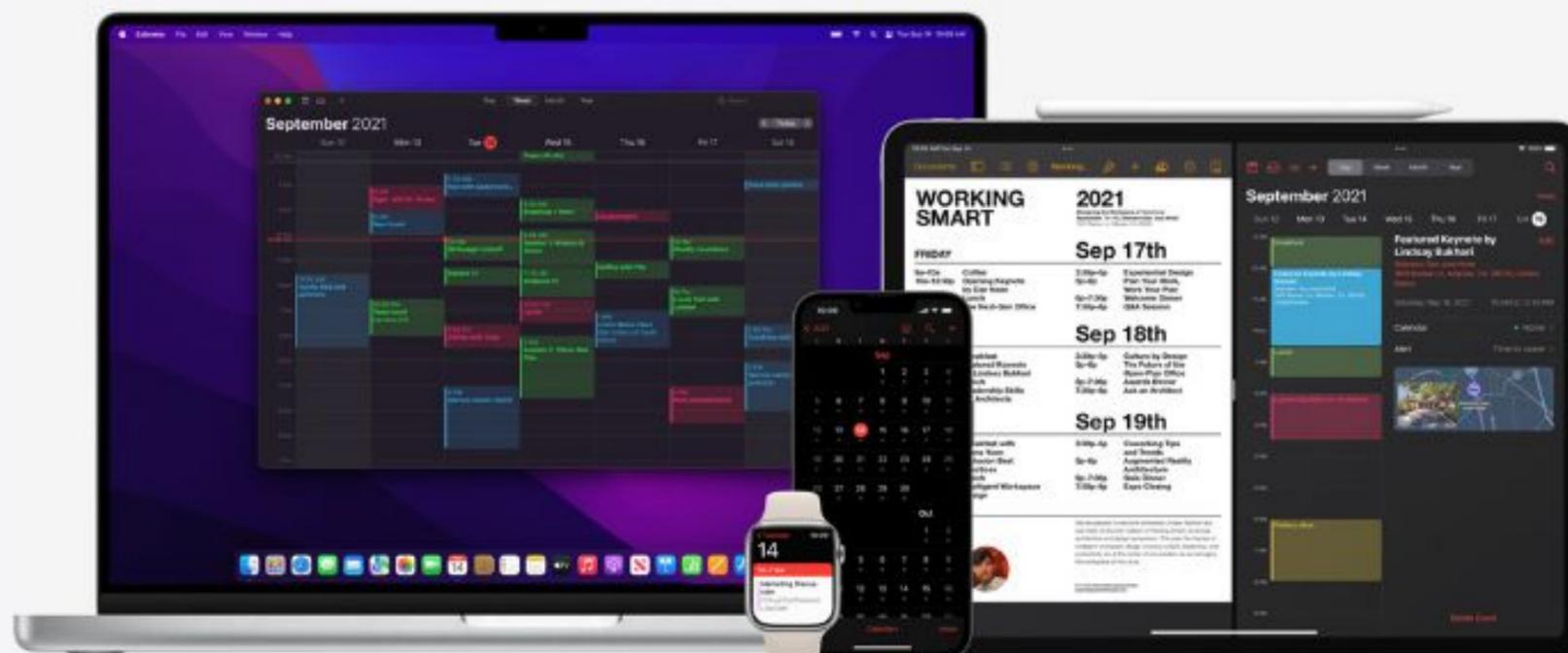
# Mac/iPhoneを使っているお客様にサービス提供したい

- 良く聞く話
  - Macを使っているお客様をサポートするために、お客様と同じ環境が欲しい
  - iPhoneアプリやiPadアプリをお客様向けに開発したい
- 私の話
  - それWindowsでは出来ないわ
  - (情シスとしては)社員がMac/iPhoneを使っているから検証用に欲しい

## まとめ: Macを選択する理由

1. Macを使いたい
2. Mac/iPhoneを使っているお客様にサービス提供したい

# 社員に選んでもらい ましょう。最高の仕事を してくれるはずです。



働く人々が愛用しているツールを使って好きな方法で仕事をする環境が整うと、日常で最高の仕事をするための意欲が引き出されます。Appleは、社員が自分のデバイスを選べるようにすると同時に、IT部門の管理をシンプルにし、企業の標準を簡単に維持できるようにしています。

[IT部門向けApple Employee Choiceガイド\(PDF\)を見る](#)

[via. https://www.apple.com/jp/business/enterprise/choice/](https://www.apple.com/jp/business/enterprise/choice/)

# 余談: WindowsもMacもChromebookも使っていて思うこと

- Mシリーズやベえ ※Appleシリコン搭載Macのことです
  - これ of これ
  - とにかくグラフィック性能が高いように感じる(個人の感想です)
    - 外付け4KディスプレイでWeb会議しながらオフィスソフトやらブラウザやらチャットやらしていても快適そのもの(贅沢な使い方です)
- ハードウェアが長く使える
  - 変なBIOS(失礼)や謎のドライバ(重ねて失礼)が入ってない
  - グラフィック性能が高いからチープさを感じにくいのかもかもしれない
  - なんとRetinaディスプレイは2012年6月にすでに登場していた!

# 雑談: Mac購入稟議素材

※免責事項:本素材の情報を元に行った行動の結果について、当方は一切の責任を負いません

- 前提
  - MacではWindowsアプリは動きませんが、当社はSaaS利用が中心のためブラウザさえ動けば問題ありません
    - ここが実は超重要で、SaaS利用を中心にしないとマジつらい。最悪はMacユーザー向けにWindows仮想環境を用意したりすることになる。。
  - 当社が導入しているセキュリティプロダクトはMacにも対応しています
    - もしくは、Macに対応しているプロダクトを別途入れるのでも良い。最近ライセンス課金のはずで、どちらでもコストが掛かるのは同じはずだ。
- 必要性
  - MacはiPhoneアプリの開発に必須です。開発環境であるXcodeはMacでしか動きません。
  - Macを利用しているお客様をサポートするために、お客様と同等の環境を確保してサポート品質を高めます
  - Macを利用したい従業員の要望に応えるために必要です。従業員満足度を維持/向上させるために必要です
- 信頼性
  - Macはビジネス用途でも多くの企業で既に利用されており既に実績があります
  - Mac用のMDMとしてJamf Proを導入することで、情シス部門で一括管理をすることが出来ます
- 効果
  - MacはUnixベースのOSのため、開発者にとって便利なコマンドラインツールを利用したりスクリプト実行環境を構築しやすくなっており、コミュニティから情報を得ることもできるため、開発者の生産性向上が期待できます
  - Macを開発環境として選択できることはエンジニアにとって大変重要であり、特に高スペックで英字配列キーボードのMacを選択できる場合はエンジニア採用にプラスとなります(要出典)
- 価格の妥当性
  - Macは高価に見えますが、同等の操作感や体験を実現するパソコンと比較すれば妥当な価格帯となっています
  - Macは中古市場からの評判が良いため、他OSを採用したパソコンに比べて売却時の単価も高くなります

# まとめ:情シスはユーザーの「選択の自由」を尊重したい

## ユーザーがOSを選択する理由

➡「使いたい」and/or「使っているお客様にサービス提供したい」

- Macを選択する理由
  - Macを使いたい
  - Mac/iPhoneを使っているお客様にサービス提供したい
- Windowsを選択する理由
  - Windowsを使いたい
  - Windowsを使っているお客様にサービス提供したい
- Chrome OSを選択する理由
  - Chrome OSを使いたい
  - Chrome OSを使っているお客様にサービス提供したい
- Linuxを選択する理由
  - (以下、省略)

## 目次

- 01 選択の自由
- 02 Jamf Proで管理工数を削減
- 03 ついでにセキュリティ
- 04 複数OS混在でも耐えられる？
- 05 いま困っていること
- 06 まとめ



# 私とJamf

freeeに入社して初めて触った

プロジェクト /  CITスプリント管理 /  エピックを追加 /

CIT3-727

## Jamf 100 を最後までやる

着手日	なし
<b>説明</b>	
説明を編集	
期限	なし

  1   

**進行中** ▾

 **アクション** ▾

詳細 ^

担当者  
 Katsuya Furutachi

ラベル  
なし

???「ユーザーの自由は、情シスの不自由って言ってた」

# ユーザーの自由を情シスの不自由にしない

こんな夢を見た

- パソコンをシンクライアントにすれば、情シスからしたら「どれでもいいしょ」なんじゃないの？

IT環境に不自由さ(一定のルール)を設ける

- コーポレート業務はクラウドサービスのみで構成する
  - 昔: 特定アプリやブラウザが必須 ※このようなシステムは選定しない
  - 今: モダンなブラウザであれば何でも良い ※このようなシステムのみを選定する
- クラウドサービスのみで業務が完結するように強制する
  - デスクトップやダウンロードフォルダなどの自動掃除する ※これはJamf Proでスクリプト配布してる
  - インストール型のオフィスソフトウェアではなく、クラウド型のサービスを利用する
  - PPAPではなく共有リンクを推奨する
  - etc...

情シスによるパソコンの管理工数を下げる

- Jamf Proで管理工数を削減 ※今回のメイン

# Jamf Proで管理工数を削減

## ① Macを購入してユーザーに配布するまでの管理工数を削減する

1. ADE(旧DEP)として購入
  - Macを購入してJamf Proと紐つける(≒ Jamf ProからMacを管理できるようにする)
2. ゼロタッチキッティング
  - Macが情シスやユーザーの手元に届く前からJamf Pro経由でキッティングを仕込める

## ② 運用作業の管理工数を削減する

3. インベントリ情報の閲覧
  - ただ見るだけじゃないけど、ただ見れるってだけでスゴいことだ
4. 適時のセキュリティパッチ適用
  - アプリやOSのセキュリティパッチの適用状況をダッシュボードで確認できる

## ③ IT環境を最小工数で QoL向上する

5. ちょっとした工夫
  - 1.自動掃除
  - 2.Wifi優先度

# Jamf Proで管理工数を削減

## ① Macを購入してユーザーに配布するまでの管理工数を削減する

1. ADE(旧DEP)として購入
  - Macを購入してJamf Proと紐つける(≒ Jamf ProからMacを管理できるようにする)
2. ゼロタッチキッティング
  - Macが情シスやユーザーの手元に届く前からJamf Pro経由でキッティングを仕込める

## ② 運用作業の管理工数を削減する

3. インベントリ情報の閲覧
  - ただ見るだけじゃないけど、ただ見れるってだけでスゴいことだ
4. 適時のセキュリティパッチ適用
  - アプリやOSのセキュリティパッチの適用状況をダッシュボードで確認できる

## ③ IT環境を最小工数で QoL向上する

5. ちょっとした工夫
  - 1.自動掃除
  - 2.Wifi優先度

# Jamf Proで管理工数を削減(1) ADE(旧DEP)として購入

- Macを購入してJamf Proと紐つける(≡ Jamf ProからMacを管理できるようにする)
  - ADPのADE/DEPでABM/ASMからMDMすれば良い
    - Apple Business Manager(ABM)
    - Apple School Manager(ASM)
    - Apple Deployment Programs(ADP)
    - Automated Device Enrollment(ADE)
    - Device Enrollment Program(DEP)

????

# Jamf Proで管理工数を削減(1) ADE(旧DEP)として購入

Q: ChatGPTさん! Macを購入する時に、DEP端末として購入する方法を教えてください!

A: MacをDEP(Device Enrollment Program)端末として購入する方法にはいくつかのステップが含まれます。以下にその手順を説明します。

## 1. Apple Business ManagerまたはApple School Managerアカウントの登録

- まず、Apple Business Manager(ABM)またはApple School Manager(ASM)のアカウントを作成する必要があります。これらはAppleが提供する、企業や教育機関向けのデバイス管理プラットフォームです。
- 公式ウェブサイトアクセスして、必要な情報を入力してアカウントを登録するプロセスを進めてください。

## 2. 認定リセラーまたはAppleから直接購入

- Macを購入する際、ABM/ASM対応の認定リセラーまたはAppleから直接購入する必要があります。
- 購入時に、Apple Business ManagerまたはApple School Managerの顧客番号またはDEP登録IDを伝えてください。

## 3. リセラーにDEP登録を依頼

- 認定リセラーから購入する場合、デバイスをDEP端末として登録するようリセラーに依頼します。リセラーは購入したデバイスをあなたのApple Business ManagerまたはApple School Managerアカウントに登録します。

## 4. アカウントでデバイスを確認

- デバイスを購入したら、Apple Business ManagerまたはApple School Managerアカウントにログインし、デバイスが正しく登録されているかどうかを確認します。
- 「デバイス」セクションから、登録されたデバイスを検索・確認できます。

## 5. デバイス設定と管理

- デバイスが正しく登録されていれば、次はデバイスの管理設定を行います。例えば、MDM(モバイルデバイス管理)ソリューションを使用して、デバイスのセットアップ、ポリシーの適用、アプリの配布などを行います。
- 具体的な設定手順は、使用しているMDMの管理ツールに依存しますが、ABM/ASMのインターフェースから直接行うことができます。

リセラーに  
相談しましょう

# Jamf Proで管理工数を削減(2)ゼロタッチキッティング

月300人入社を支えるキッティング手法とは #とは

- ゼロタッチキッティング
  - Macが情シスやユーザーの手元に届く前からJamf Pro経由でキッティングを仕込める
  - でも本当はゼロタッチじゃない。誰ですかゼロタッチって言ったのは。
    - 化粧箱から出して管理番号シールを貼ってから渡している
- 300人分のシール貼るの大変
  - 1台5分だとして、300台1,500分=25時間÷3.1日
    - 大変は大変。でも複数人で分担すればワンチャンいけそうな数字だ。
    - もし普通にキッティングして1台30分だとしたら、300台÷18.6日になって絶望するしかない
- シールを貼ったらユーザーに渡すだけ
  - 初期設定マニュアルを添えてMacをユーザーに渡している

# Jamf Proで管理工数を削減(2)ゼロタッチキッティング

Macが情シスやユーザーの手元に届く前からJamf Pro経由でキッティングを仕込める

- 情シスは何を仕込んでいるのか？(超概要)
  - 事前登録
    - MDMプロファイルを必須にする
    - 設定アシスタントオプション
      - ユーザー側のセットアップ手順を変更できる。
      - ポリシーやスクリプトで強制変更するものはスキップさせる
    - Jamfのインストール
  - 構成プロファイル
    - セキュリティ関連の設定を強制する
    - 必須ソフトウェアの設定を強制する
  - ポリシー
    - 頻度「Once per computer」でインストールスクリプトを強制実行する
    - 他頻度のポリシーで設定変更や情報取得などのスクリプトを強制実行する

これはキッティングのたびに仕込むのではない。  
最初に仕込んでしまえばあとは何もしなくて良い。  
もし設定を変更したくなったら好きなときに変更すれば良い。  
さすれば既存端末を含めて一括で変更されるであろう。

# Jamf Proで管理工数を削減(2)ゼロタッチキッティング

Macが情シスやユーザーの手元に届く前からJamf Pro経由でキッティングを仕込める

- ユーザー側が何をやっているのか(あるいは入社当日にMacを配布された私が何をやったのか)
  - 起動(MacBookの蓋を開く)
  - セットアップ画面で言語やアクセシビリティなどを選択
  - ネットワーク接続(有線LAN or 無線LANでインターネット接続する)
  - IDaaSのログイン画面が出るので初期パスワードでログイン
    - IDaaSの初期設定をする(初期パスワード変更、MFA設定)
  - VPN接続(IDaaSのMFA必須)
  - ブラウザへのログイン(変更後パスワードでログインする)
  - …あとは必要な度に必要なアプリの設定をするだけ

ゼロタッチキッティングと言ったな？

実際はユーザー自身はパソコンにタッチする必要があるぞ！

# Jamf Proで管理工数を削減

## ① Macを購入してユーザーに配布するまでの管理工数を削減する

1. ADE(旧DEP)として購入
  - Macを購入してJamf Proと紐つける(≒ Jamf ProからMacを管理できるようにする)
2. ゼロタッチキッティング
  - Macが情シスやユーザーの手元に届く前からJamf Pro経由でキッティングを仕込める

## ② 運用作業の管理工数を削減する

3. インベントリ情報の閲覧
  - ただ見るだけじゃないけど、ただ見れるってだけでスゴいことだ
4. 適時のセキュリティパッチ適用
  - アプリやOSのセキュリティパッチの適用状況をダッシュボードで確認できる

## ③ IT環境を最小工数で QoL向上する

5. ちょっとした工夫
  - 1.自動掃除
  - 2.Wifi優先度

# Jamf Proで管理工数を削減(3)インベントリ情報の閲覧

運用作業の管理工数を削減する

## 1. インベントリ情報の閲覧

- ただ見るだけ
  - たいていは**コンピューター名**や、**ユーザー名**で検索する
  - 詳細検索ではハードウェアのスペックやソフトウェアのバージョンなどで検索できる
    - さらに、検索条件を設定できるので、特定のハードやソフトを検索条件保存している
      - Mac miniだけ検索、Sonomaだけ検索、Jamf接続が一定期間ないとか
- グループを作って見る
  - スマートグループ(特定条件のグループ)やスタティックグループ(固定)を作る
  - グループを作れば、グループに対してポリシー設定など出来るので嬉しい
    - スマート:M1グループ、Sonomaグループ、Jamf接続が一定期間ないグループとか
    - スタティック:情シス検証端末グループ、問い合わせ対応の臨時グループ
- ダッシュボードで見る
  - 構成プロファイルやパッチ管理ステータスをダッシュボードに並べられる
    - このダッシュボードからインベントリ情報までドリルダウンしていける
      - たとえば、Sonomaの最新バージョンが当たっている端末リストに1クリックで辿れる
- 検索結果はCSVエクスポートできるので、一覧表を用意して運用作業で活用することも出来る
  - わざわざ管理簿を作らなくても、管理簿より便利な検索機能を有しているウェブ画面が使える！

# Jamf Proで管理工数を削減(4) 適時のセキュリティパッチ適用

## 1. 適時のセキュリティパッチ適用

- アプリやOSのセキュリティパッチの適用状況をダッシュボードで確認できる



- どうしてもアップデートしてくれないユーザーには、アップデートを強制させることもできる

## 2. なぜこれが管理工数削減なのか？

- ダッシュボードの状況を見て、必要な人にだけ必要なアクションを取れば良い



# Jamf Proで管理工数を削減

## ① Macを購入してユーザーに配布するまでの管理工数を削減する

1. ADE(旧DEP)として購入
  - Macを購入してJamf Proと紐つける(≒ Jamf ProからMacを管理できるようにする)
2. ゼロタッチキッティング
  - Macが情シスやユーザーの手元に届く前からJamf Pro経由でキッティングを仕込める

## ② 運用作業の管理工数を削減する

3. インベントリ情報の閲覧
  - ただ見るだけじゃないけど、ただ見れるってだけでスゴいことだ
4. 適時のセキュリティパッチ適用
  - アプリやOSのセキュリティパッチの適用状況をダッシュボードで確認できる

## ③ IT環境を最小工数で QoL向上する

5. ちょっとした工夫
  - 1.自動掃除
  - 2.Wifi優先度

# Jamf Proで管理工数を削減(5)ちょっとした工夫 — 1.自動掃除

Macをシンクライアントもどきにする

- デスクトップやダウンロードフォルダなどの自動掃除
- 再起動するとファイルを勝手に消しちゃうように仕込んでいる。
  - ユーザ警告なしで削除する。これを当社の「当たり前」にしている。
    - 「ローカルのファイルは勝手に消えるので、大事なファイルはクラウドストレージにアップしてね！」
- 実装方法:スクリプト
  - `rm -rf` コマンドを叩くshスクリプトをJamfに登録している
    - shスクリプト内でechoしておけば、ポリシー機能の「ログ」からechoが見れる！

なぜこれが管理工数削減なのか？

- このような「ちょっとした工夫」をJamf Proならスクリプトさえ書いてしまうだけで簡単に実行できる

# Jamf Proで管理工数を削減(5)ちょっとした工夫 — 2.Wifi優先度



Katsuya Furutachi 🍎 4ヶ月前

CITの古舘です。3/1入社です。初投稿です。以後よろしくお願いします。

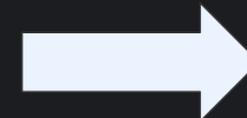
大崎ネスト & Macをご利用でネットワーク遅延に困っている方へのアナウンスです。

無線LANが遅い場合は有線LANへの接続切替えにご協力をいただいているとか存じますが、Macのネットワーク設定によっては改善しないケースがあるようです。その場合は下記の [redacted] を参考にさせていただいてネットワークの「サービスの順序を設定」でWi-Fiを一番下にすることをお試しください。この操作をすることで解消するケースがあるようです。

[https://j\[redacted\].com/macOS+LAN](https://j[redacted].com/macOS+LAN)

以上、よろしくお願いいたします。

[macOSでのネットワークの有線LANが遅い時の確認事項](#) in [IT Produce船](#)



サービスの順序:

- USB 10/100/1000 LAN
- Thunderboltブリッジ
- B [redacted]
- A [redacted]
- Wi-Fi

サービスをドラッグして順序を変更します。

キャンセル OK

👍 9 🙏 7 いつもありがとうございます 9 大事 2 📶 1 たまたま 3 cit 2 📄 1 有線LAN 1 ✅ 1 😊

1件の返信



Katsuya Furutachi 🍎 4ヶ月前

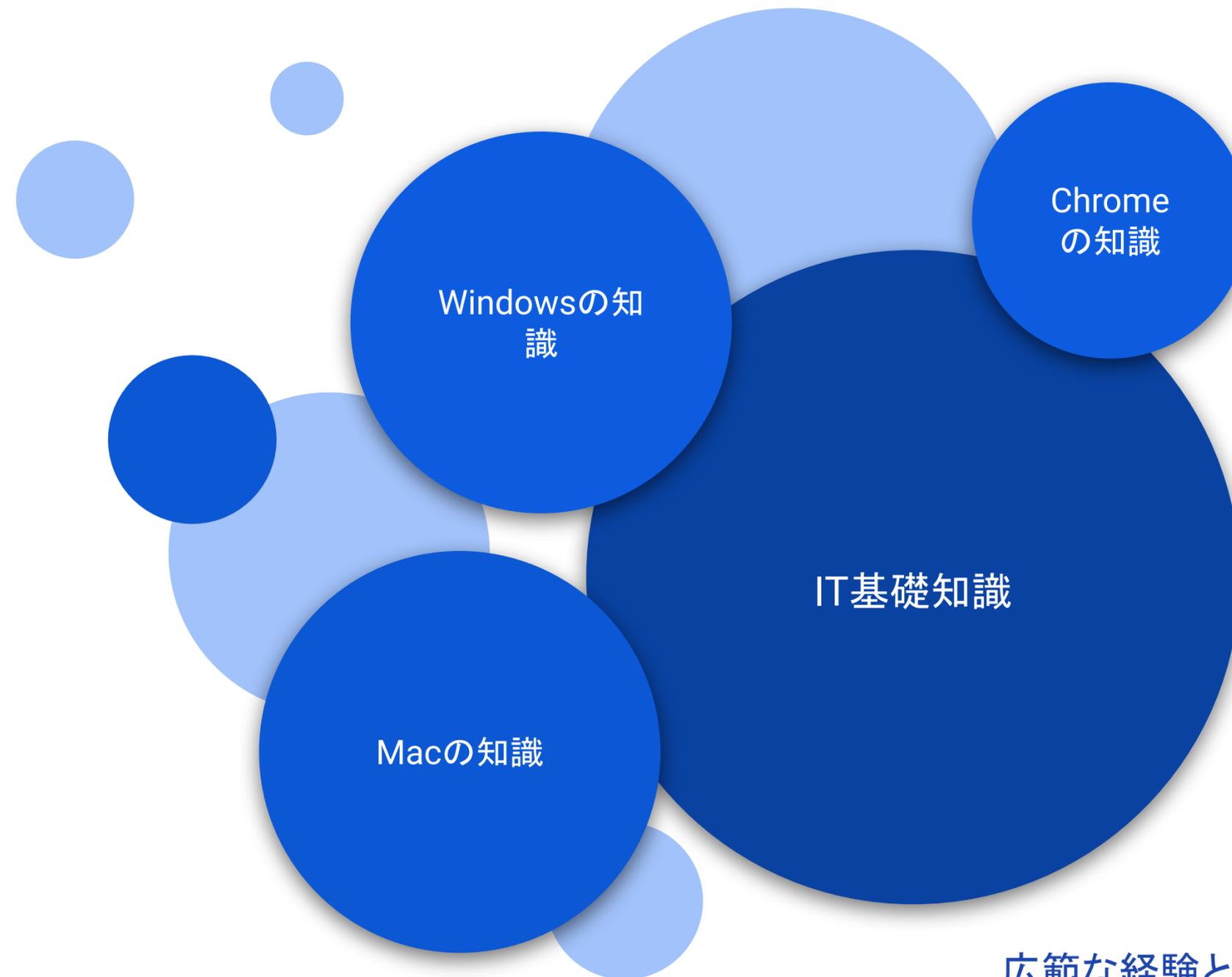
本件、ネットワーク設定変更がスクリプトで自動化されCIT内での動作確認も取れましたので、**Jamf経由で全端末に配布 & 自動実行されるようになりました。**そのため今後は特に意識せずともネットワークの「サービスの順序を設定」でWi-Fiが一番下になっていると思います。このレスも意識していただく必要はないと思いますのでコッソリ投稿します。今後ともよろしくお願いいたします。

📄 1 😊

ヒント: `$networksetup -listnetworkserviceorder`

# 余談: WindowsもMacもChromebookも使っていて思うこと

- 「情シス」のスペシャリスト #とは



広範な経験と知識を持っていることで  
スペシャルな「情シス」として輝くかもしれない

# 雑談: Jamf Pro購入稟議素材 1/2

※免責事項: 本素材の情報を元に行った行動の結果について、当方は一切の責任を負いません

- 前提
  - Macをビジネスで利用するのであれば、MDMとしてJamf Proを導入することが業界標準とされています
- 必要性
  - 持ち運び可能なデバイスを管理するためには、リモートでデータ削除する手段が必須です。
  - MDMがあることで出来るようになること
    - デバイスのセキュリティ設定を統一し、ユーザーに強制することが出来ます
    - デバイスを情報システム部門に持ち込んだりWeb会議で画面共有をしなくても、情シスのスタッフがデバイスの状況を確認することが出来ます
  - 特にJamf Proだからこそ嬉しいこと
    - Macをゼロタッチキッティングできます(初期セットアップの工数を最小化できる)
    - 新しいOSが迅速にサポートされます(MDM自体のバージョンアップ待ちでOSバージョンアップできないような本末転倒な状況に陥りにくい)
    - Jamf Proでは任意のスクリプトを特定のグループに対して実行することが出来るため、実質的にMacでコマンドレベルで操作できることはすべて実行することが可能です。
      - 一般的に、画面で操作することは全てコマンドで出来ます。また、画面で操作できないこともコマンドで出来ます。コマンド実行結果の取得も出来ますし、実行結果はログとして一定期間保存されます。
    - Appleプロダクトについて第三者視点の詳しいサポートやコミュニティ参加の恩恵を受けることが出来ます
    - iPhoneやiPadなど、Mac以外にも様々なAppleプロダクトに対応しています(注: Apple Vision Proにも対応しているらしい。すごい。)

# 雑談: Jamf Pro購入稟議素材 2/2

※免責事項: 本素材の情報を元にした行動の結果について、当方は一切の責任を負いません

- 信頼性
  - Jamf ProはApple製品のMDMとしてデファクトスタンダードであり、Macをビジネス利用している多くの企業で採用されています
- 効果
  - Macをビジネス利用するために必要な管理を出来ます
  - Jamf Proのクラウドサービスを経由して端末管理をできます
  - Macを購入してユーザーに配布するまでの管理工数を削減できます
  - 情シスが実機に触る必要性を減らし、情シスとユーザー双方の管理工数を削減することができます
    - 情シスは、ユーザーの時間を奪うことなくリモートで端末管理できるようになります
    - ユーザーは、情シスに端末を持ち込む必要なく必要なサービスを受けることが出来るようになります
- 価格の妥当性
  - (ご担当の営業様にご相談ください)
  - (Jamf単体でコストを考えるのではなく、WindowsもMacも「ユーザー1人あたりのパソコン&MDMの合計コスト」を考えてみると面白そうですね)

# Jamf Proで管理工数を削減(再掲)

Macの調達からJamfのエコシステムに入って  
すべてクラウド経由で情シスを助けてくれる

## ① Macを購入してユーザーに配布するまでの管理工数を削減する

1. ADE(旧DEP)として購入
  - Macを購入してJamf Proと紐つける(≡ Jamf ProからMacを管理できるようにする)
2. ゼロタッチキッティング
  - Macが情シスやユーザーの手元に届く前からJamf Pro経由でキッティングを仕込める

## ② 運用作業の管理工数を削減する

3. インベントリ情報の閲覧
  - ただ見るだけじゃないけど、ただ見れるってだけでスゴいことだ
4. 適時のセキュリティパッチ適用
  - 無線LAN逼迫問題→有線LANでやってね ✨

## ③ IT環境を最小工数で QoL向上する

5. ちょっとした工夫
  - 1.自動掃除
    - シンクライアントもどき。デスクトップやダウンロードフォルダなどの自動掃除
  - 2.Wifi優先度

## 目次

- 01 選択の自由
- 02 Jamf Proで管理工数を削減
- 03 ついでにセキュリティ 
- 04 複数OS混在でも耐えられる？
- 05 いま困っていること
- 06 まとめ

# 私とセキュリティ

- 「全社のパソコンがWindows Updateされてないと安眠できない」
  - セキュリティ更新プログラムは、米国太平洋標準時間の毎月第2火曜日に公開されています。
- じゃあMacは？
  - 実はセキュリティパッチが不定期に出ているよね・・・？
  - 当然みなさんセキュリティパッチを充てているよね・・・？

— ここは読まない —

- ぼくが考えたカッコイイきじゃくせい(なぜか変換できない)ランキング Top3
  - 1位:クロスサイトリクエストフォージェリ！
    - まず、クロスがカッコイイ。手を交差したポーズでキマってて間違いなくカッコイイ。
    - サイトってワードも「視界」の英語でカッコイイ。クロスなサイトで多角的に敵を監視してる。
    - リクエストはRが入っているのがカッコイイ。エストも魔法っぽくて良い。
    - フォージェリ！カッコイイ！なにこれかっこよすぎない？！？！これは1位ですわ。
  - 2位:クロスサイトスクリプティング
    - かっこいいけど、プリンっぽくてちょっとカワイイ要素も入っちゃっている。惜しい。
  - 3位:この答えはみんなの心の中にだけあるよ……あとでコツソリ教えてね(はーと

— ここまで読まない —



第010144号

# Macのセキュリティ is 何

- 必須のMac設定(抜粋)
  - ディスク暗号化: Mac標準のFileVaultをオン ※Jamfで設定を強制
  - スリープとスクリーンセーバ解除: パスワードを要求 ※Jamfで設定を強制
  - OSのアップデート: セキュリティパッチ... ※Jamfで設定を半強制と監視
  - etc...
- 必須のサードパーティソフトウェア(抜粋)
  - MDM: 情シスがリモートで端末を操作 ※Jamf自身
  - EDR: いわゆるウイルス対策ソフトウェア ※Jamfでインストール
  - MFA認証: SSO対応型だとユーザ体験ヨシ ※Jamfでインストール
  - VPN: SaaSにはVPN経由でアクセスさせる ※Jamfでインストール
  - etc...
- 適時のセキュリティパッチ適用
  - アプリやOSのセキュリティパッチの適用状況をダッシュボードで確認できる(割愛) ※Jamfで監視
  - 最新マイナーバージョンを強制ダウンロードやインストールできる(次スライド) ※Jamfで操作を強制
- ちょっとした工夫
  - シンククライアントもどき
    - デスクトップやダウンロードフォルダなどの自動掃除 (割愛) ※Jamfでスクリプト実行

# 最新マイナーバージョンを強制ダウンロードやインストールできる

Pro

デバイス

Inventory

インベントリ検索

一括購入コンテンツを検索

コンテンツ管理

構成プロファイル

ソフトウェアアップデート

プロビジョニングプロファイル

個人所有デバイスのプロファイル

モバイルデバイス App

eBooks

グループ

スマートデバイスグループ

スタティックデバイスグループ

クラス

モバイルデバイス： ソフトウェアアップデート

← 1 個のグループをアップデート

**i** Jamf Pro の一括ソフトウェアアップデートは管理対象デバイスのみでの使用が可能です。ユーザは、macOS 12.3以降を搭載したデバイスをマイナーバージョンにアップデートする場合、ソフトウェアアップデートを延期できます。macOS 10.11、iOS 10.3、または tvOS 12以降を搭載したデバイスでは最新バージョンへのアップデートが可能です。macOS 10.15、iOS 11.3、または tvOS 12.2以降を搭載したデバイスでは特定のバージョンへのアップデートが可能です。

インストールアクション

選択したすべてのデバイスで実行するアクションを選択して、デバイス上の OS と内蔵 App をアップデートします

- ダウンロードのみ  
選択したデバイスに OS アップデートを自動的にダウンロードします
- ダウンロードとインストール  
選択したデバイスに OS アップデートを自動的にダウンロードしてインストールします
- ダウンロードして、インストールをスケジュールします。  
選択したデバイスに OS アップデートを自動的にダウンロードしてインストールをスケジュールします。
- ダウンロード実行、インストールと延期を許可  
選択したデバイスに OS アップデートを自動的にダウンロードし、ユーザがインストールを延期できるようにします
- ダウンロード、インストール、再起動  
OS を自動的にアップデートし、選択したデバイスを強制的に再起動します

対象バージョン

選択したすべてのデバイスをアップデートするバージョンを選択します

- デバイスの適格性に基づく最新バージョン
- 最新メジャーバージョン
- 最新マイナーバージョン
- 特定のバージョン

控えめに言って...

神

機能

キャンセル 適用

# Macのセキュリティ is 何(再掲)

Macのセキュリティレベル向上のために  
Jamfは幅広いポイントで情シスを助けてくれる

- 必須のMac設定(抜粋)
  - ディスク暗号化: Mac標準のFileVaultをオン ※Jamfで設定を強制
  - スリープとスクリーンセーバ解除: パスワードを要求 ※Jamfで設定を強制
  - OSのアップデート: セキュリティパッチ... ※Jamfで設定を半強制と監視
  - etc...
- 必須のサードパーティソフトウェア(抜粋)
  - MDM: 情シスがリモートで端末を操作 ※Jamf自身
  - EDR: いわゆるウイルス対策ソフトウェア ※Jamfでインストール
  - MFA認証: SSO対応型だとユーザ体験ヨシ ※Jamfでインストール
  - VPN: SaaSにはVPN経由でアクセスさせる ※Jamfでインストール
  - etc...
- 適時のセキュリティパッチ適用
  - アプリやOSのセキュリティパッチの適用状況をダッシュボードで確認できる(割愛) ※Jamfで監視
  - 最新マイナーバージョンを強制ダウンロードやインストールできる(次スライド) ※Jamfで操作を強制
- ちょっとした工夫
  - シンククライアントもどき
    - デスクトップやダウンロードフォルダなどの自動掃除 (さっき話したので割愛) ※Jamfでスクリプト実行

## 目次

- 01 選択の自由
- 02 Jamf Proで管理工数を削減
- 03 ついでにセキュリティ
- 04 複数OS混在でも耐えられる？
- 05 いま困っていること
- 06 まとめ



わりい やっぱつれえわ

ちゃんと言えたじゃ  
ねえか

# 複数OS混在でもこの先生きのこるためには

いま私が生き残っているのは・・・

- MDMがある
  - MacはJamf Pro、WindowsはIntune、ChromeはChrome Enterprise Premiumがある
- ローカルアプリがない
  - 社内システムはfreee様のプロダクト(freee会計, freee人事労務, etc)など、SaaSをメインに利用している[PR]
  - 複数のSaaSがあるが、Bundle by freeeというSaaS管理ツールがあるのでアカウント管理もやりやすい[PR]

# 統合型経営プラットフォームを提供



# 190 SaaSを統合可能

あらゆるデータを、雇用形態を問わずに統合可能。

担当部署

各種マスター

データ項目



人事部署管理



部署コード

雇用形態



情報システム管理

Google Workspace

メールアドレス



プロジェクト管理



外部メールアドレス



オンプレミス



入社日

BUNDLE by freee

## 統合マスター



正社員

部署コード

雇用形態

メールアドレス

入社日



業務委託

部署コード

メールアドレス

入社日



アルバイト

雇用形態

メールアドレス

入社日



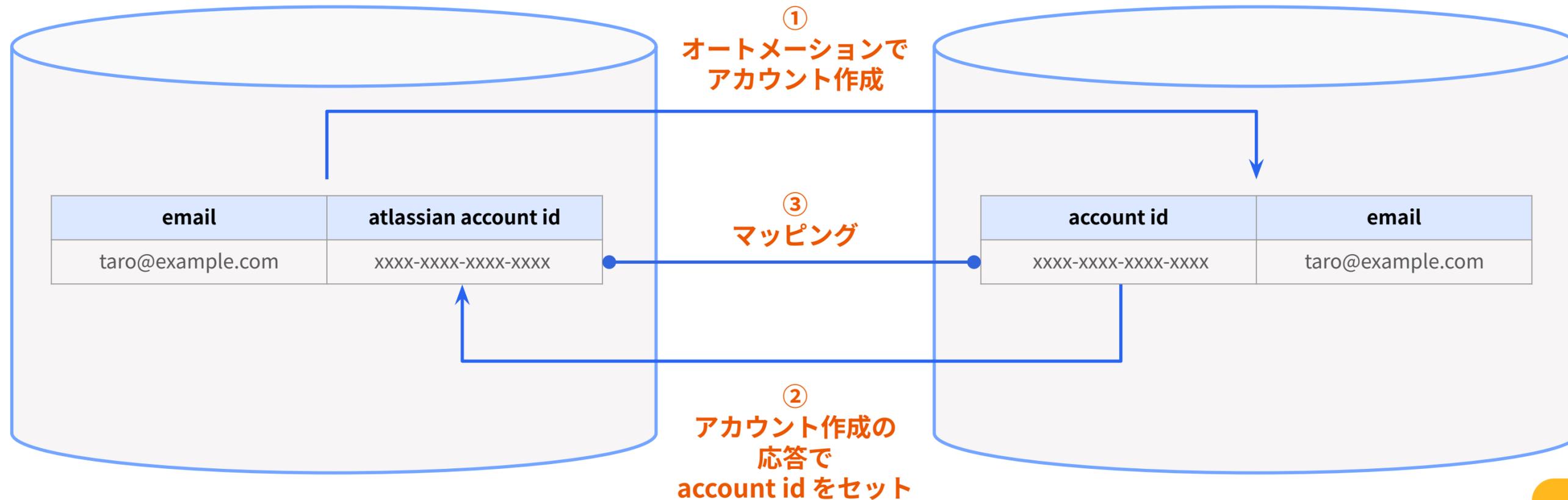
請負契約

外部メールアドレス

# 140SaaSのアカウント発行削除の自動化が可能

オートメーション設定により自動でアカウント発行が可能

bundleから発行されたアカウントはユーザマスタとのマッピングが行われており、そのまま棚卸し管理が可能



SaaSのゼロタッチ  
キッキングは  
Bundleで出来るよ



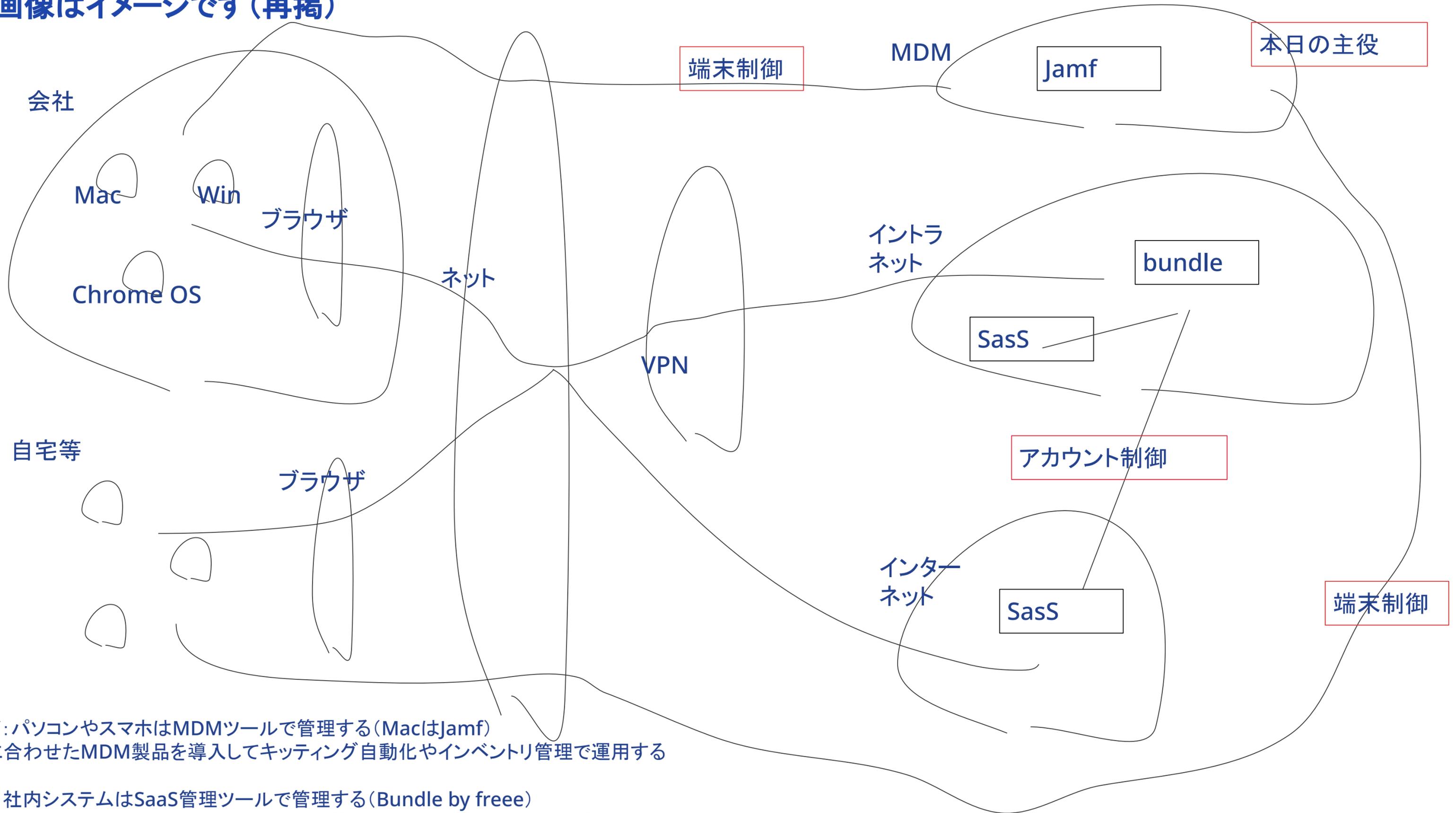


# 複数OS混在でもこの先生きのこるためには

ユーザーに不自由を強要する？ 否！

- ルールと仕組みを用意して自由にプレイしてもらおう！
  - ルールと仕組みをユーザーに強制させるために、ITツールを活用して労働から解放されよう！
- ハード: パソコンやスマホはMDMツールで管理する (MacはJamf)
  - OSに合わせたMDM製品を導入してキッティング自動化やインベントリ管理で運用する
    - 例えば、MacはJamf Proのダッシュボードでパッチ適用状況を管理する
- ソフト: 社内システムはSaaS管理ツールで管理する (Bundle by freee)
  - 社内システムはSaaS利用をメインとしてSaaS管理ツールでアカウント発行や権限管理する
    - 例えば、Bundle by freeeのアカウント棚卸し機能でシャドーアカウントを検知する

※画像はイメージです(再掲)



ハード: パソコンやスマホはMDMツールで管理する(MacはJamf)  
・OSに合わせたMDM製品を導入してキッティング自動化やインベントリ管理で運用する

ソフト: 社内システムはSaaS管理ツールで管理する(Bundle by freee)  
・社内システムはSaaS利用をメインとしてSaaS管理ツールでアカウント発行や権限管理する

## 目次

- 01 選択の自由
- 02 Jamf Proで管理工数を削減
- 03 ついでにセキュリティ
- 04 複数OS混在でも耐えられる？
- 05 いま困っていること 
- 06 まとめ

# いま困っていること

- 古いOSをどうするのか
  - PCリプレイスの中で自然消滅を待つのか、ユーザーにメジャーアップデートを強制するのか
    - いまは前者で考えているが、OSバージョンによってJamfから強制できることが異なっていたりする
    - Jamf様から「こんな最新機能が管理できるようになりました！（ただしSonoma 14.x以降のみ）」とか
  - 各OSバージョンの動作確認までは何とか出来るが、MacのメジャーVerUp検証はしんどい
    - 個人的な過去の経験として、バージョンアップ時にアプリ権限まわりのトラブルが多い印象をもってしまっている
- Apple製品の情報収集で困っている
  - Apple社の発表ってコンシューマ向けに寄っている印象が・・・
    - いや、情シス向けもあるんだと思うんだが・・・どこにあんの・・・ボスケテ・・・

みなさん話しましょう！

## 目次

- 01 選択の自由
- 02 Jamf Proで管理工数を削減
- 03 ついでにセキュリティ
- 04 複数OS混在でも耐えられる？
- 05 いま困っていること
- 06 まとめ



# 本日のまとめ [PR]

情シスが“デバイス選択の自由”を提供し続けるためのIT環境の話 #とは

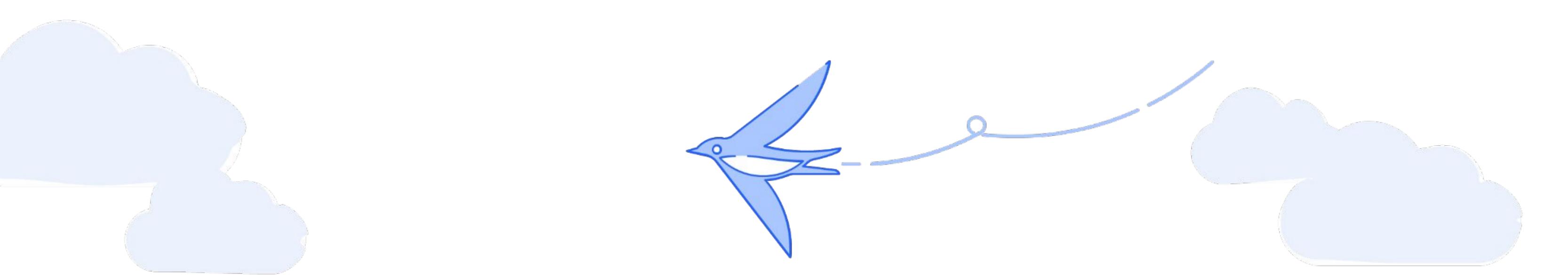
- ユーザーの自由は、情シスの不自由 → ルールと仕組みを用意して自由にプレイしてもらおう！
  - ルールと仕組みをユーザーに強制させるために、ITツールを活用して労働から解放されよう！
- ハード: パソコンやスマホはMDMツールで管理する (MacはJamf)
  - OSに合わせたMDM製品を導入してキッティング自動化やインベントリ管理で運用する
    - 例えば、MacはJamf Proのダッシュボードでパッチ適用状況を管理する
- ソフト: 社内システムはSaaS管理ツールで管理する (Bundle by freee)
  - 社内システムはSaaS利用をメインとしてSaaS管理ツールでアカウント発行や権限管理する
    - 例えば、Bundle by freeeのアカウント棚卸し機能でシャドーアカウントを検知する

月300人入社を支えるキッティング手法とは #とは

- Jamfのゼロタッチキッティング最高だぜ！！！！！！！！
  - でも完全なゼロタッチにはしていない
  - 化粧箱から出して管理番号シールを貼ってから渡している

- SaaSのゼロタッチキッティングはBundleで出来るよ [PR]





**スモールビジネスを、世界の主役に。**

